

令和6年度第2回四街道市総合計画審議会 会議録

日 時 令和6年11月15日（金）15時00分～16時30分
場 所 四街道市役所4階第1委員会室
出席委員 大下会長 市川委員 日野委員 湯下委員 飯島委員 北村委員
返田委員 小幡委員 藤本委員 金親委員 中村委員
欠席委員 荒木（健）委員 荒木（寿）委員 舛田委員
事務局出席者 長田政策統括監兼経営企画部長 荒巻副参事 三好政策推進課長
木村企画係長 簗持主任主事 落合主任主事 西本主任主事
傍 聴 人 0人

——会議次第——

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 会議の公開・非公開
4. 議 題
 - (1) 四街道市総合計画第1期基本計画（HAPPY SMILE PLAN）進行管理について
 - (2) 第2期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略総括評価の報告について
 - (3) 第3期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子案について
 - (4) その他
5. 閉 会

——会議の内容——

1. 開会

【事務局】本日は、公私ともにご多忙の中、令和6年度第2回四街道市総合計画審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

これより令和6年度第2回四街道市総合計画審議会を開会いたします。

本日は、委員定数14名のうち11名にご出席をいただいておりますので、会議が成立していますことをご報告させていただきます。

なお、荒木（健）委員、荒木（寿）委員、舛田委員につきましては、所用により本日欠席のご連絡をいただいておりますことを併せてご報告いたします。

【事務局】次に、この度、審議会委員の変更がございましたので、ご紹介させていただきます。

白石委員に変わりました「京葉銀行 四街道支店 支店長」の返田委員でございます。

【返田委員】～あいさつ～

2. 会長あいさつ

【事務局】それでは、大下会長よりごあいさつをいただきたいと思います。大下会長、よろしくお願いいたします。

【大下会長】～あいさつ～

【事務局】

ありがとうございました。それでは、今後の会議の進行につきましては、四街道市総合計画審議会条例第6条第3項により、会長が議長となることとなっておりますので、大下会長、よろしくお願いいたします。

3. 会議の公開・非公開

【大下会長】それでは、これより進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

会議録の作成についてですが、「四街道市審議会の会議の公開に関する指針」により審議会は、会議録を作成することとなっております。

なお、会議録における発言者名については、「審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準」の規定により、原則として明記することとなっておりますので、本審議会においても明記する取扱いとしたいと存じますが、よろしいでしょうか。

【各委員】～承認～

【大下会長】それでは、会議録には発言者名を明記することといたします。会議録は事務局が作成することとし、出席委員を代表して小幡委員、金親委員に会議録の内容確認をお願いしたいと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。

【各委員】～承認～

【大下会長】小幡委員、金親委員よろしいでしょうか。

【両委員】～承認～

【大下会長】それでは、会議録の内容確認を小幡委員、金親委員にお願いいたします。

続いて、本日の会議の公開・非公開につきましては、「四街道市審議会の会議の公開に関する指針」により、公開とさせていただきます。

また、会議資料につきましては、「審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準」の規定により、傍聴人の閲覧に供するものとしますが、このうち、会議次第につきましては、配布するものといたします。その他の資料につきましては、本審議会の判断によるものとされております。

私といたしましては、本日の資料については、全て配布するものとして存じますが、委員の皆様の意見をお伺いします。

【各委員】～異議なし～

【大下会長】それでは、本会議は「公開」とし、傍聴人に資料を配布することとします。事務局は傍聴の方がいらっしゃいましたら入室させてください。

【事務局】傍聴人はいません。

4. 議題

(1) 四街道市総合計画第1期基本計画（HAPPY SMILE PLAN）進行管理について

【大下会長】それでは、議題（1）について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】～議題（1）について 説明～

【大下会長】ただいま事務局より説明がありましたが、ご質問、ご意見等ありましたら、お願いします。

【飯島委員】総合計画の進行管理様式について、令和6年度を例にお示しいただいておりますが、総合計画は5か年の計画であるため、計画期間の5年間の中で少しずつ事業が進んでいくこともあるかと思えます。各事業の経年変化などについては、どのように公表していかれるのでしょうか。

【事務局】今回、計画初年度の令和6年度評価の例として、単年度の各指標や各事業の実施状況等をお示しさせていただきましたが、総合計画を推進するに当たって、今後、基本計画の中間年度である令和8年度に中間評価を、最終年度に総括評価を行うことを想定しているところです。

各事業が想定どおりに進んだかどうかの経年変化などについては、この中間評価や

総括評価の際に、お示ししていただけるよう内部で検討させていただきできればと思います。

なお、今回、基本計画の下には、各事業の令和6年度から8年度までの3年間における事業予定を記載した前期実施計画を作成しております。また、令和9年度及び令和10年度の残り2年間については、令和8年度に作成予定の後期実施計画にてお示しすることを予定しております。

【大下会長】評価に当たり、単年度の実施状況が「◎：達成」となることもあるかと思いますが、成果指標については、目標値を達成した後、数値が下がらないものと維持しなければいけないものがあります。そのため、目標値を達成した指標でも、その維持や、達成したあとどうするのかの検討、また、目標に届いていない指標は、目標達成に向けさらに取組を加速させるなど、数値の経年変化に注視しつつ、自己分析を行い、各課にフィードバックすることで、計画の推進に努めていただければと思います。

【金親委員】実施計画事業の評価については、成果指標の記載がなく、計画事業費の予算額と決算額の比較が主となっておりますが、ここに成果指標は入らないということでしょうか。

【事務局】成果指標の評価については、前計画の進行管理では、分野ごとに成果指標、計画事業の順に記載していましたが、新たな進行管理様式では、3頁から8頁に成果指標をまとめ、9頁以降に実施計画事業の評価をまとめて記載する構成としています。

【金親委員】計画の評価に当たっては、実施計画事業と成果指標では、成果指標の方が重要なポイントになってくると思います。今回の様式ですと、単に計画事業費の予定額と執行額の対比となっており、その背景にある取組の成果やKPIがどうであったかが見えてこないのが、実施事業の評価が分かりづらいものになっていると思います。

【大下会長】前計画と本計画とで、進行管理の構成を変えた経緯を教えてください。

【事務局】進行管理の構成を変更した経緯としましては、本計画は前計画と異なり、基本計画の下に実施計画を作成しております。実施計画では、実施計画事業の事業内容を年度ごとに示しており、総合計画の単年度評価においては、実施計画事業の実施内容について主に評価していければと考えております。

成果指標については、計画期間の中間年度に実施する市民意識調査の数値を対象とするものも多く、単年度での評価が難しいことから、中間評価や総括評価において、十分に評価していければと考えております。

【大下会長】各分野における成果指標や実施計画事業の進捗状況に対する所感を記載すると評価についてわかりやすいものとなると思います。

【湯下委員】様式を拝見した際に、評価の総括表が分かりづらいという印象を受けました。重点プロジェクトの実施状況と分野での実施状況と分けて記載すると分かりやすくなるかと思しますので、見せ方について再度工夫いただければと思います。

【藤本委員】総合計画の体系で、分野がありその下に政策があるかと思いますが、その政策に紐づき展開する事業の一覧が、進行管理様式の中に含まれていない点はわかりにくく感じます。(※)

また、実施計画事業の様式において、実施結果が表の左側、実施予定が右側にありますが、一般的には配置を逆にした方が見やすいのではないのでしょうか。

【事務局】様式の見せ方については、再度検討させていただければと思います。

(※) 政策に紐づき展開する事業の一覧として、実施計画事業一覧を追加配付。

(2) 第2期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略総括評価の報告について

【大下会長】次に、議題(2)について事務局より説明をお願いします。

【事務局】～議題(2)について 説明～

【大下会長】ただいま事務局より説明がありましたが、ご質問、ご意見等ありましたら、お願いします。

【飯島委員】総合戦略の目標年度が令和6年度になっておりますが、令和6年度はまだ終わっておりませんので、計画期間の途中の評価ということでもよろしいのでしょうか。

【事務局】総合戦略の目標年度は令和6年度となっておりますが、新たな総合戦略の策定に向け、計画期間中の令和5年度の数値をもとに総括評価を行っています。

【飯島委員】公表様式の中で、成果指標と事業の関連付けがなく、成果指標の達成状況が遅れていることの原因分析を行うに当たって、どの事業の進捗状況が遅れていることが要因となっているかなどの特定が困難となっております。

今回、成果指標の達成状況を簡潔にまとめていらっしゃいますが、成果指標と事業の紐づけなど、別で管理しているものがあるのでしょうか。

【事務局】総合戦略においては、取組と事業との直接的な紐づけは行っておりません。取組の文章において、一部、事業内容について触れている程度となっております。

理由としましては、地方創生に係る国の各種交付金を受ける際には、総合戦略への位置づけが必要であり、市の取組を網羅できるよう広く記載していることから、取組に対して、具体的な事業の紐づけは行っておりません。

また、地方創生については、総合計画と一体的に推進していくところであり、総合計画において取組と事業の紐づけを行っていることから、具体的な事業については、総合計画の進行管理において、推進を図っていければと考えております。

【飯島委員】基本目標ごとの進捗状況に記載されている、主な取組の実施により、成果指標の進捗に良い影響があったという整理でしょうか。

【事務局】前計画である後期基本計画の重点プロジェクトと第2期総合戦略の基本目標は連動しており、重点プロジェクトに記載の取組を主な取組として取り上げさせていただき、成果指標の進捗に良い影響を及ぼしたものと整理しております。

【湯下委員】総括における今後の課題にて、人口のピークを7年早く迎え、人口減少局面に入りつつあるとしておりますが、人口を前年度と比較した際、その減少幅は小さいものであり、社会増も維持している中で厳しい評価をしているという印象を受けました。

また、評価基準について、①目標達成に向け進捗、②目標達成に向け進捗していない、③その他の三区分で評価されており、①目標達成に向け進捗の中では、A現時点で目標を達成、B現時点では目標を達成していないとしています。

現時点で目標に達成しているものと、現時点では目標に向け達成していないものとは、目標値の維持や目標の達成に向けた今後の対応が異なるにも関わらず、①目標達成に向け進捗と一括りにすることについて、違和感を覚えます。

【大下会長】②目標達成に向け進捗していないとしているものについて、その理由の多くを新型コロナウイルス感染症の影響としています。目標達成に向け進捗しなかったことは、新型コロナウイルス感染症の影響のみならず、その他の要因も複合して、達成に向け進捗しなかったものもあると考えられます。

目標の達成に至らなかった成果指標については、再度細かく原因を分析していただき、次期戦略の推進に努めていただければと思います。

(3) 第3期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子案について

【大下会長】次に、議題(3)について事務局より説明をお願いします。

【事務局】～議題(3)について説明～

【大下会長】ただいま事務局より説明がありましたが、ご質問、ご意見等ありました

ら、お願いします。

【大下会長】国の総合戦略を勘案して、第3期総合戦略を策定されると説明いただきましたが、国の動向に左右されるということもありますから、第2期総合戦略と同じく、第3期総合戦略についても、冊子の作成はなしということによろしいでしょうか。

【事務局】会長仰せのとおり、冊子の作成の予定はございません。

【大下会長】第1回審議会において、総合計画と総合戦略の関連性の図が分かりにくいのご意見がありました。事務局にて分かりやすいものとなるよう修正いただいております。その点委員の皆様はいかがでしょう。

【日野委員】分かりやすいものとなっていると思います。

【大下会長】4頁と5頁において、国と県のまち・ひと・しごと総合戦略の基本的な方向性等ついて記載いただいておりますが、デジタル技術の活用が特出しされています。どういった趣旨で記載されているのでしょうか。

【事務局】国において、デジタル田園都市国家構想を策定し、デジタル技術の活用を推進しているところであり、このことを踏まえ、県においてもデジタル技術の活用を特出ししているものと思われま。本市につきましては、これらを踏まえ、デジタル化を含む、総合計画で掲げる4つのまちづくりの推進力を活用して、地方創生に取り組んでまいりたいと考えております。

【大下会長】総合計画と総合戦略との関連性をより強めるためには、総合計画で掲げる4つのまちづくりの推進力の活用を特出した方が、より明確なものとなると思いますので、見せ方については検討いただければと思います。

【日野委員】17頁において、総合戦略とSDGsとの関連性について記載いただいておりますが、これについては第2期総合戦略にも同様の記載があったかと思ひます。SDGsについては、2030年を期限としており、将来的には総合戦略との関連性の紐づけがなくなることもあるかと思ひますが、SDGsの達成に向けて取り組んできた成果は残りますので、今後の施策の展開と結び付けて、これからの施策の検討に活かしていただければと思ひます。

【金親委員】第2期総合戦略と第3期総合戦略とで構成が異なるように思ひます。基本的な方向性などで大きく変わる点はあるのでしょうか。

【事務局】第2期総合戦略については、国が示す4つの分野ごとに基本目標を定めて

いたところですが、第3期総合戦略については、総合計画で掲げる4つのまちづくりの道を基本目標として設定しております。19頁においてお示ししているところですが、4つのまちづくりの道に国が示す4つの分野に紐づけをして、整理しています。具体的な取組については、第2期総合戦略を引き継ぎつつ、第3期総合戦略の構成に落とし込んで記載する予定です。

【市川委員】人口ビジョンを拝見して、四街道市の人口が増加基調であったところ、頭打ちに近い状況となっていることに驚きました。四街道市についても、人口減少局面に入りつつある中で、今の人口を維持する又は減少を緩やかにするということが重要であると思います。今四街道市に住んでいる人が、住んでいてよかったと思えること、職住近接であることがこれからも求められてくることであろうと思います。現在取り組まれている結婚から子育てまでの切れ目のない支援が、今後の人口の推移に良い影響が及べば良いなと思います。

(4) その他について

【事務局】本年度は、2月に今年度最後の審議会の開催を予定しております。詳細な開催日程につきましては、追って皆様にご連絡させていただきます。以上でございます。

5. 閉会

【大下会長】それでは、そのほかにご質問等がないようでしたら、本日の議題はすべて終了いたします。皆様の円滑な会議運営へのご協力に感謝申し上げます。令和6年度第2回四街道市総合計画審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。

(以上)